



東日本大震災復興支援の活動

救援物資17,428点集まる!

連合では、このたびの東日本大震災に対する復興支援として、組織内外での募金活動や被災地へのボランティアの派遣など全組織をあげて取り組んでいます。

連合群馬では、群馬県と連携し、各構成組織から集約した救援物資の提供や街頭・駅頭での募金活動、関東ブロック団の一員としてボランティア派遣への参加を行ってきました。

救援物資の集約では各産別・地協の協力により以下のとおり多数の救援物資を集約し群馬県を通じ被災地へ届けています。みなさんのご協力ありがとうございます。

支援物資	数 量
タオル・バスタオル	7,427点
靴	28点
衣類・膝かけなど	2,926点
毛布・タオルケット	233点
日用品	6,870点
合 計	17,428点

カンパ金5,395,743円を集約(6/7時点)

街頭や駅頭でのカンパ活動では、県連合・地協による主要駅頭や街頭で広く県民に向け義援金のご協力を呼びかけ、数多くの義援金が寄せられ、6月7日現在で5,395,743円を集約しました。

また、フェスティバル会場や連合群馬が入居している群馬県勤労福祉センターと連携し、募金箱を設置しセンター利用者などへ協力をいただきました。

太田駅頭カンパ



藤岡地協によるカンパ活動



勤労福祉センター
玄関へカンパ箱設置

連合救援ボランティア第5陣に参加しました!

5月2日(月)～10日(火)、福島県会津(猪苗代町)を拠点とする救援ボランティアに、関東ブロックの一員として参加した小川副事務局長のレポートをお届けします。

野菜たっぷりの温かい味噌汁が大切

私たち関東ブロックの6名は、他のボランティアの方と①野菜や器具の洗い物班、②野菜カット班、③炊き出し班に分かれて、郡山市の元いすゞ跡地を基地に、1,300人規模の避難施設ビックパレットなどで炊き出しを行いました。

避難者の方々は連日同じ内容の弁当で、ある避難先では、昼におにぎり2個の所もありました。

温かい食べ物がなく、野菜が圧倒的に不足していて、味噌汁などに野菜をたっぷり入れた炊き出しが、いかに大切なのが良く分かりました。味噌汁を手渡すとき、「いつもありがとう」や「おいしいです」、「感謝します」の声をかけていただき、胸が熱くなりました。

普通の生活のありがたみを再認識

避難されている方と接点を持つ炊き出しでは、話題や行動にも気をつけましたが、我々の苦労は一時で終わります。しかし、避難者の方々のプ



←炊き出し味噌汁作り
味付けは健康面を考慮して薄味で!



連合第3陣ボランティアに参加し、今回はNPOのボランティアに無料で再度参加した連合愛知中電シーティアイ労組の高木さん：右(頭が下がります)と小川副事務局長：左

イバシーも守れない避難所からいつ出られ、仮設住宅に入れるのかわからず、ストレスもたまっていきます。

普通の生活ができるありがたみを大きく感じるボランティアとなりました。